

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0590400073		
法人名	株式会社タクト		
事業所名	グループホーム有浦		
所在地	秋田県大館市有浦一丁目4番8号		
自己評価作成日	令和4年11月15日	評価結果市町村受理日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、施設で外出の機会が少なくなった今でも、季節感や行事、風習等を大切に、家庭菜園やイベント、行事食を通して感じて頂ける様に取り組んでいます。 ・健康面では月に2回の往診や各棟に1名ずつ看護師を配置して、健康維持管理に努めております。 ・日課に体操、作業活動を取り入れ生活にメリハリが持てるように取り組んでいます。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.akita-longlife.net/evaluation/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1		
訪問調査日	令和4年12月19日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>長びくコロナ禍によって地域との交流も途絶えがちになっていますが、神社の祭礼行事が復活して曳山や子供神輿がホーム前で披露されたことで、近隣の方々と接する機会が持てたことは地域に溶け込む努力をしてきたホームとして有意義なことと思われます。各ユニットに配置された看護師が両ユニットの利用者の情報を共有し、それぞれの職員が連絡ノートで更に共有することで連携が図られ、利用者の安全な生活に繋げています。また、必要な支援をわかりやすく介護計画に反映させたことで毎日のケアに直接活かされており、介護計画の見直しにも活かされています。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~46で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
47	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:19,20)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	54	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:8,9,15)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
48	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:14)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	55	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,16)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
49	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:19)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	56	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
50	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:30)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	57	職員は、生き活きと働けている (参考項目:10)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
51	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:41)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	58	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
52	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	59	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
53	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を事務所内に掲示しており、職員間で再確認や意識しながら援助が出来るようにしております。	理念を念頭に置き、利用者に寄り添う支援に努めています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	花や野菜の植え付けを一緒に行う時等に、近所の方等と挨拶等、交流を持っていましたが、感染予防にて、外に出るのを控えている為、交流が思う様に出来ていません。	子供神輿の披露等があり、利用者地域の方々と久々の交流の機会となりました。コロナの状況下でも、職員はご近所と挨拶を交わし、通常のお付き合いは続いています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	市内にある大学実習の受け入れや、見学者の受け入れ等でグループホームを知って頂きたいと思っておりましたが、感染対策の為、来館や外部の方との接触を控えさせて頂いております。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の開催については、ご家族にも入館を控えて頂いている事もあり、実施も控えさせて頂いております。運営状況等を資料として配布させて頂いております。状況を見て再開したいと考えております。	書面上での会議が続いていますが、会議メンバーに資料を届けた際に意見交換できるようにしており、会話の内容をサービスの向上に活かせるよう努めています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の資料を届けに行った際に、報告を行ったり、疑問点や相談事等も、その際にアドバイス等頂いております。	行政からはメール連絡が主ですが、管理者が窓口に出向くこともあり、生活保護担当部署等、各部署と連携して利用者の支援に繋がっています。	
6	(5)	○身体拘束及び虐待をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」及び「高齢者虐待防止関連法」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組むとともに、虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な委員会の開催の他、勉強会で共有するなどしており、環境整備や利用者の方の言動や行動パターンを把握しながら対応する事で拘束する事の無いように取り組んでいます。	身体的なことだけでなく、スピーチロックについても疑問点を随時話し合っており、状況に応じた声かけや対応ができるよう取り組んでいます。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	なかなか学ぶ機会がなく、研修があった場合は、積極的に参加して行きたいと思いません。それとは別に、サポートセンターの活用について、そこから勉強する予定です。		
8		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約する前に、施設見学をお勧めし、施設の雰囲気を見て頂く機会を設けています。料金表等を活用しご家族に説明し同意により契約頂いております。		
9	(6)	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、要望、苦情等を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、適切に対応するとともに、それらを運営に反映させている	家族が来館した際や、電話やメール連絡で、近況報告を行った際、要望やご意見を伺ったりしております。要望については申し送りの際に職員間で共有したりしており、できる限り添えるように検討しています。	入居時にホームでの過ごし方について等の要望を話してくれることが多いようです。感染防止のために面会に制限を設けていることもあり、支払いに訪れた機会を捉えて意見の引き出しに努めています。	
10	(7)	○運営や処遇改善に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営や職場環境、職員育成等の処遇改善に関して、職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを適切に反映させている	改まった機会は設けずに日常の業務内で職員の要望や意見を聞くように努力しています。要望や意見については、法人に要望を伝えたり、業務内で反映できるように努力しています。	職員の意見や要望は日々の業務の中で聞き取るようにしており、管理者を通じて法人に伝えられ、備品の購入等に反映されています。	
11		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同法人の施設とは、日常的に情報を共有しており、管理者会議などでの意見交換や定期的に職員間異動を行ったりして、質の向上に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居される際は必ず本人と面談し、今後の意向や心配なこと、困っている事を確認し、安心できる環境を、つくり提供できるように職員間でも、情報交換しながら支援しております。		
13		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前には見学をお勧めし、雰囲気を見て頂くと共に面談を行い、困っている事や心配なこと、今後どのように生活して欲しいかを確認するようにしています。		
14		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常的な会話や家事の手伝い、作業、レクリエーション活動を利用者と共に行う事で、感情を共有し利用者の方と共に生活する関係を築いています。		
15		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	サービス提供するばかりでなく、ご家族に電話やメール、お便り等で近況報告を行い、協力して頂ける支援については継続して頂きながら本人を支える協力を受けています。		
16	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように、支援に努めている	在宅中から利用していた美容院や通院等、ご家族の協力を受けながら、関係が途切れないようにしております。	受診や馴染みの美容院への外出は家族が同行しており、関係継続の協力支援をお願いしています。	
17		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共有空間を設置して利用者の方同士が関わりやすい環境に配慮しています。人間関係や相性、コミュニケーション能力に配慮し、良好な人間関係が築ける様に支援しております。		
18		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も支障なく次の生活に移行できるように情報提供を行う等しております。また退所後も気軽に、ご相談頂ける様にお声掛けしております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向、心身状態、有する力等の把握に努め、これが困難な場合は、本人本位に検討している	生活の意向や希望の確認を行っており、意思を伝える事が困難な方には、日頃の暮らしの中での表情や言動から気持ちを汲み取り、少しでもご本人の希望に添えるように努力しております。	日常生活の中で利用者の状況を観察して意見交換し、連絡ノートを情報共有のツールとして活用すると共に申し送りでも伝えていきます。	
20		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や在宅時の担当ケアマネ、サービス利用施設からの情報をもとに、これまでの暮らしぶり等の把握に努めており、生きがいを見つけ楽しく生活できるように努力しています。		
21	(10)	○チームでつくる個別介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した個別介護計画を作成している	ご家族に近況報告を行い、要望を計画に反映させています。担当を決めモニタリングを行い、計画を意識しながら援助することで、意見やアイデアを発信してもらえるように現在、取り組み中です。	支援目標を詳細に設定して職員の介護計画への意識の向上を図り、日々のケアに活かされています。担当職員がモニタリングを行い、他の職員の意見も聞きながら計画作成担当が介護計画を作成しています。	
22		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や個別介護計画の見直しに活かしている	毎日の生活状況を個別に記録し、情報を共有したり、申し送りや記録内容を振り返りながら計画の見直しに役立っています。計画に沿った援助を実践し、実践と記録が連動したものとなるように努力しています。		
23		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	かかりつけ医や市担当者からの助言、情報を基に、安全な暮らしができるように支援しております。		
24	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に今後のかかりつけ医について話し合います。希望に応じ協力医、その他の医療機関の選択が可能となっております。受診にはご家族にも協力して頂き、必要に応じ情報提供を行ったりしております。	適切な医療を受けることができるよう説明しており、希望に応じた支援が行われています。歯科受診については訪問診療を利用することが多くなってきています。	
25		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師により健康管理、服薬管理が行われています。異変があれば、看護師に報告し必要に応じ医療機関へ受診ができるように支援しています。介護職へ状態の観察ポイント等のアドバイス等も行っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院中は、こまめに病院やご家族と連絡を取り状況を確認する等して、支障なく日常生活に復帰できるように支援しております。		
27	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化あるいは終末期が予想される場合には、ご家族様と今後の意向について話し合います。協力医の変更により、看取りは出来なくなりましたが、入院されるまでの期間、出来るだけご希望に添えるように職員間で話し合いながら対応しております。	終末期の対応については家族の了承が得られており、ホームでの対応が困難になった場合には、関係機関と連携を図りながら本人、家族が安心できる支援となるよう取り組んでいます。	
28		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時の緊急体制はマニュアル化しておりますが、再確認の機会を持つことが出来ておりません。今後、再研修の機会を持つていきたいと考えております。		
29	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を実施しております。ご近所の方や民生委員の方が協力して頂ける事になっていましたが、コロナ対策の為、現在は施設だけで実施しており、状況が落ち着き次第、協力を得る事にしています。	これまでは地域の協力体制も整っていましたが、コロナ禍で協力が得られないことから今年の訓練は1回の実施にとどまっています。参加できない職員もいるため、訓練後の反省点はノートで共有しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人ひとりの個性を把握し、その方に合わせた距離感や言葉を使い、お声掛けやコミュニケーションを取っております。	その人の個性をよく理解して日常のケアにあたり、排泄時、入浴時の言葉かけについては特に配慮しています。	
31		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	馴染みの美容院の継続や、日々の整容、毎朝の洋服選びなど、入居者様が身だしなみに無関心にならない様にお手伝いしております。		
32	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節や行事に合わせた食事提供や負担にならない範囲で役割分担を決める等して後片付けを手伝って頂いております。コロナ対策の為、食事は一緒に行っていませんが、誤嚥等の無いように見守りを行っています。	菜園の野菜を献立にあげたり、行事食で地域の風習を思い起こしていただけるようにしています。介助の必要な方もおりますが、その人のペースで食事できるよう支援しています。	
33		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ここにあった食事量を提供し、食べた後で達成感を持って頂けるようにしています。体重測定や一日の水分量を記録等を行い、状態の把握に努めています。		
34		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケア援助を行っています。自身でブラッシングされる方もいらっしゃいますが、必要に応じて義歯洗浄や夜間の消毒などの支援を行っています。		
35	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	出来るだけトイレでの排泄習慣を保持できるように排泄リズムでトイレ誘導する等、個別を心掛けています。尊厳を保持する為にパット等の排泄用品を使用されている方もいらっしゃいます。	職員間で状況を伝え合いながら排泄表を活用して自立に向けた支援が行われています。日中はトイレ誘導して排泄用品に頼らないで過ごせるよう対応すると共に、用品の使用減に向けて取り組んでいます。	
36		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の排泄状況を記録し、水分、摂取量を把握しながら行っております。下剤の服用などについては調整しながら行っております。場合によっては医師に相談しながら改善に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	あらかじめ入浴予定日は決めさせて頂いておりますが、気分や体調に合わせて入浴の日時を変更する等して対応しております。浴槽内のお湯は、お一人様毎に入れ替えしております。	週2回を基本に支援しており、夏場はシャワー浴の日も増やしています。拒否する方もいますが、職員の上手な誘導によって入浴し、清潔保持できています。	
38		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望や状態を観察しながら休息のお声掛けや自室の誘導を行っております。		
39		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬は看護師が管理し、主治医との連絡調整や症状の観察、職員への説明や注意事項の周知に努めています。		
40		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴や身体の状態に配慮しながら、日常の役割分担や趣味活動を提案し行っております。		
41	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	今年はコロナ対策で、外出等の制限をさせていただいておりますが、入居者様の希望により、ご家族に協力を頂いてドライブして頂く事もありました。その際は、人の混雑している場所では、車から下り無いようお願いしました。	コロナ禍でもあり、以前のような外出支援はほとんどできない状況ですが、菜園で野菜を収穫したりして短時間ではあるものの、外気に触れる機会をつくっています。家族の協力を得ることで外出できている利用者もおります。	
42		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にはお金は紛失防止等の為、ご家族様の同意のもと、事務所で管理しています。ご本人からの要望に応じて、その都度、買物の対応を致します。		
43	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日清掃し、床のワックス掛け等も定期的実施しております。空調や加湿器により快適な室温維持できるように調整しております。ホールには季節に合わせた飾りを提示して落ち着いた空間になるように努めています。	できることが少なくなってきましたが、職員と一緒につくったものをホールに飾っており、訪問時は時節柄クリスマス飾りつけがされていました。清掃が行き届き、空気清浄機も活用して快適な空間がつけられています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールにはTVを囲むようにソファを配置しており、集まった利用者の方が雑談したり、テレビを見たり、居眠りされたりして思い思いに過ごされています。		
45	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際に、使い慣れた物や馴染みの物等の持ち込みをお願いしています。また、自分の塗り絵や、家族の写真を飾ったりされる方もいらっしゃいます。各部屋の窓際に花を飾る等しております。	室内も清潔に保たれています。ホームで用意したもので過ごしている方もおりますが、持ち物に制限を設けていないので使い慣れたタンス等を持ち込んでいる方もおり、それぞれの生活環境がつけられています。	
46		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	室内はバリアフリーであり、出来るだけ自力移動が出来るように手すり等も設置しています。木製ベッドから介護用ベッドに変更し、サイドレールの活用で、寝返りや立ち上がりの方が自分出来るように配慮しています。		